



女性が元気に 活躍できるまちづくり

公明党議員団 三宅 智加子議員

問 本市の乳がん検診の受診率は、全国平均の20%と比べ半分の11%と、県内でも低い状況にある。乳がん、子宮頸がん検診の無料クーポン配布も4年目を迎える本年、受診の機会を生かすためにも課題を明確にし、受診しやすい環境づくりをすべきと思うが、見解を聞きたい。

答 全国的な課題として、受診機関や体制、女性医師数が十分でないこと等がある。本市としては、受診機会の拡充、子育て応援デーの設置等、受診勧奨の取り組みを強化したい。



問 商工会議所女性会が提出した女性の健康力向上に関する要望書について、所感を聞きたい。

答 関係団体の皆様方が受診率向上に向けた取り組みを行うことは市民と行政との協働であり、意義深いものとする。今回の要望を真摯に受け止めて、関係団体等と連携しながら、一層の健診の推進に努めていきたい。



魅力とにぎわいある 新大牟田駅に向けて 周辺地区の整備と利活用の促進を

社民・民主・護憲クラブ 森田 義孝議員

問 新大牟田駅周辺地区への居住対策や企業事務所誘致対策、土地の利活用促進などの視点に立った建ぺい率や容積率の変更についての考えを聞きたい。

答 駅東側は、定住促進を図る住宅街区としての土地利用を期待している。駅西側の交流街区は、現在でも住宅やマンションなどの共同住宅、店舗、ホテル、事務所等の建築が可能である。建ぺい率や容積率の見直しについては、今後の土地利用の動向や変化を見きわめるとともに、社会状況の変化等を踏まえながら検討したい。

問 新大牟田駅の交流拠点としての利活用、地域の拠点機能の向上、魅力とにぎわいのある駅に向けた環境整備の観点から、駅駐車場の拡大について聞きたい。

答 新大牟田駅のさらなる利便性の向上と新幹線の利用促進を図るためにも、駐車場の拡大は必要であると思われることから、前向きに具体的に検討していきたい。



働く場の創出こそ 第一の課題である

自由民主党議員団 塚本 二作議員

問 雇用ニーズの把握と、その認識度を聞きたい。

答 総合計画策定時に実施した市民意識調査において、市民が一番求めているのは働く場であり、雇用の創出は若者の定住や市民の豊かな生活、都市発展に不可欠な重要課題と考えている。

問 副市長二人制での市政発展に向けた決意を聞きたい。

答 関係機関等との対外的・戦略的な行財政運営を行うことにより、将来のまちづくりに向け萬進していきたい。

問 有事即応の防災体制の確立と実災的訓練はどうか。

答 消防団の充実に努め、関係機関と連携しながら、ライフラインを整備するなど、防災体制の強化に努める。また、各方面で実状況にあった訓練を行っている。

問 厳格な生活保護行政の精神について聞きたい。

答 生活保護法に「国が生活困窮の程度に応じ必要な保護を行い、その自立を助長することが目的」とある。



市立小中学校の土曜授業の復活と 若い家族の子育て支援を

自由民主党議員団 光田 茂議員

問 ゆとり教育の導入で学校週五日制が始まったが、近年、子供の学力低下を危ぶむ声が広がっている。芦屋町のように、本市でも土曜授業を復活する考えはあるか。

答 県教育委員会が示した土曜授業の趣旨とは、土曜日であることで、保護者の授業参観などへの積極的な参加が望めるものであるため、本市でも教育課程検討委員会の中で検証を行いながら検討を進めたい。

問 少子高齢化対策として、若い家族の子育て環境支援のためにも、市営住宅を開放してはどうか。また、小学生までの医療費無料制度の考えについて聞きたい。

答 若い世帯を対象とした市営住宅の特別枠はないが、今後、子育て世代の安定した生活の確保のため、入居条件を満たすことを前提に優先枠を検討したい。また、子供の医療費は、小学6年生までの入院費の自己負担への助成を25年4月診療分より実施できるよう検討している。